

国際シンポジウム

スイス絵画
の異才

カール・ ヴァルザー

その多面的な魅力に迫る

カール・ヴァルザーの肖像



2026年8月9日(日)

大阪中之島美術館 1階ホール

13時-16時30分
(開場 12時30分)

定員：150名(先着順、事前申し込み不要)
参加費：無料 *ただし本展観覧券(利用後の半券可)が必要



大阪中之島
美術館
NAKANOSHIMA
MUSEUM OF ART,
OSAKA

スイス絵画
の異才

カール・ヴァルザー その多面的な 魅力に迫る

国際シンポジウム

主催：大阪中之島美術館
協力：東京ステーションギャラリー
株式会社キュレイターズ

助成：



公益財団法人
ポーラ美術振興財団
POLA ART FOUNDATION

スイスに生まれたカール・ヴァルザー (Karl Walser / 1877-1943) はベルリン分離派の画家で、舞台美術や挿絵など幅広い分野で活動しました。日本とも深い関わりを持ち、1908年(明治41)、作家ベルンハルト・ケラーマンに同行して約半年間日本に滞在し、京都・宮津をはじめ各地で日本の風俗や風景をスケッチしています。近年のスイスでの再評価の高まりを受けて、本年、日本初となる回顧展「スイス絵画の異才 カール・ヴァルザー」が開催中です(東京ステーションギャラリー：2026年4月18日-6月21日、大阪中之島美術館：7月4日-9月27日)。出品作品には初期から晩年までの絵画のほか、日本滞在時の水彩や旅の記録も含まれています。展示会の開催に合わせて企画された本シンポジウムでは、ヴァルザー芸術の魅力や日本との関わりについて、スイス在住の研究者による調査報告を含めて検証し、多彩に活躍したこのスイス人画家に関する知見を皆さまと共有して理解を深める場といたします。

登壇者 (順不同・敬称略)



奥田 修

おくだ おさむ

大阪生まれ、スイス在住。神戸大学およびベルン大学美術史セミナーにて美術史を学ぶ。1996年から2004年まで、ベルン美術館内のパウル・クレー財団にて研究助手。2005年よりパウル・クレー・センターにて研究員。パウル・クレーおよびその周辺の芸術家に関する多数の著作がある。本展の企画および監修者。



レト・ゾルク

Reto Sorg

2025年までローザンヌ大学教員(近代ドイツ文学)、2026年4月までベルンのローベルト・ヴァルザー・センターの初代所長を務める。文学におけるモダニズム、文学教育、現代文学、スイス文学などをテーマに研究。多くの著書を執筆し、なかでもローベルト・ヴァルザー研究に関する著作や共編著が多数ある。



柿沼万里江

かきぬま まりえ

チューリヒ大学美術史学科にスイス政府奨学金給費生として留学、同大学で博士号を取得。2016年よりパウル・クレー・センター研究員。スイス在住。パウル・クレーに関するドイツ語の著作多数。日本では近年の編著に『日々はひとつの響き ヴァルザー=クレー詩画集』(平凡社/2018年)がある。



松田法子

まつだ のりこ

京都府立大学准教授。専門は建築史・都市史。水と陸地との領域を対象とする「汀(みぎわ)の人文史」などをテーマに研究。宮津については、近代における天橋立の海水浴場化、新浜・万年町遊廓の歴史などを研究する中で、カール・ヴァルザーとベルンハルト・ケラーマンの宮津滞在を調査。共著に『東京水辺散歩』(技術評論社/2022年)など。



若林 恵

わかばやし めぐみ

東京学芸大学教授。専門はドイツ語文学、とくにドイツ語圏スイスの作家、カール・ヴァルザーの弟であるローベルト・ヴァルザー研究。ローベルト・ヴァルザーに関する論文を多数発表し、訳書に『日々はひとつの響き ヴァルザー=クレー詩画集』(平凡社/2018年)、『ローベルト・ヴァルザー 絵画の前で-物語と詩』(鳥影社/2021年)などがある。



富田 章

とみた あきら

雪国新潟で産湯を使い、湯の国別府で温泉に浸かって育つ。慶應大学、成城大学大学院卒。横浜のそごう美術館、大阪のサントリーミュージアム[天保山]を経て、現在、東京ステーションギャラリー館長。専門はフランス、ベルギー、日本の近代美術。近著に『旅する印象派』(東京美術/2024年)など。本展の企画構成を担当。



清原佐知子

きよはら さちこ

大阪大学大学院文学研究科で美学とドイツ近代美術史を学ぶ。1995-1997年ベルリン自由大学美術史研究所に留学。1998年より現在の大阪中之島美術館の準備室に勤務。「絵画の冒険-今井俊満と戦後美術の歩み」「生誕100年記念前田藤四郎」などの展示会に携わる。近現代日本の版画、前衛芸術受容史などを専門とする。本展担当学芸員。

スイス絵画
の異才

カール・ヴァルザー

2026.7.4 SAT ▶ 9.27 SUN 4階展示室

開場時間：10時~17時(入場は16時30分まで)
*8月28日(金)、9月4日(金)、9月11日(金)、9月18日(金)~9月27日(日)は20時まで(入場は19時30分まで)

休館日：月曜日、7月21日(火)
*7月20日(月・祝)、8月10日(月)、8月24日(月)、8月31日(月)、9月7日(月)、9月14日(月)、9月21日(月・祝)は開館

主催：大阪中之島美術館
協賛：スイス インターナショナル エアラインズ、スイス ワールドカーゴ
後援：在日スイス大使館 企画協力：株式会社キュレイターズ

Admission

観覧料(税込)

一般 1,800円 (団体1,600円)

高大生 1,300円 (団体1,100円)

小中生 500円 (団体300円)

*チケットの詳細は大阪中之島美術館公式サイトをご覧ください。

Access

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4-3-1

[電車]京阪：中之島線 渡辺橋駅(2番出口)より南西へ徒歩約5分 Osaka Metro：四つ橋線 肥後橋駅(4番出口)より西へ徒歩約10分 JR：大阪環状線 福島駅/東西線 新福島駅(2番出口)より南へ徒歩約10分 阪神：福島駅より南へ徒歩約10分

[バス]大阪シティバス：JR大阪駅前より53号・75号系統で「田妻橋」下車、南西へ徒歩約2分 ※お帰りのJR大阪駅方面への便利なバス停は「渡辺橋」です。

[駐車場]有料駐車場あり(割引サービスはございません。)
*詳細は大阪中之島美術館公式サイトをご覧ください。

問い合わせ

TEL:06-4301-7285(大阪市総合コールセンター) 受付時間 8時~21時(年中無休)

展示会公式サイト

<https://nakka-art.jp/exhibition-post/karlwalser-2026/>



大阪中之島美術館
INAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

アクセス

